

『工場が変わる！「生産革新」流れづくり・人づくりセミナー』

～生産革新を事例と演習で体系的に学ぶ～

(来場のみ)

改善活動が「一過性」や「部分最適」で終わっていませんか。改善を積み上げても、工場全体のQCDやリードタイムが思うように良くならない、その背景には、工場やサプライチェーンを“**流れ**”として捉える視点が不足し「点」で改善しているからです。本セミナーでは、「流れづくりの考え方/IE手法の要点」を整理しつつ、**体感ゲームと事例研究**により、「自社ならどう進めるか」まで具体化します。また、改善を定着させるために**継続的に成果を出すために不可欠な推進者の育て方**を、20年以上続くNECの実践型プログラム「自主研」事例を基に、改善を継続させる仕組み(運営方法・テーマ設定・育成の進め方)を教えます。

講座名 『工場が変わる！「生産革新」流れづくり・人づくりセミナー』

日時 2026年 9月 8日(火) 10:00-17:00

対象 現場リーダー、改善推進担当者や責任者、製造部門責任者、工場長、組織内で改善の仲間を増やしたい方、部門を超えた改善活動の推進・定着を狙う方、在庫・リードタイム・生産性の全体最適を狙いたい方

定員
21名

会場 東京・永田町近辺の会議室

受講料 日本IE協会・他地区協会会員 39,600円

日本生産性本部 賛助会員 46,200円

一般 52,800円

(一名様につき 税込み・テキスト代込み)

講師 日本電気(株) シニアプロフェッショナル 山崎 誠 氏

お申込みはこちらから

https://www.j-ie.com/seminar/koukai_kouza/CZ06/



プログラム

※ 内容や順序は変更になることがあります

9月8日(火)
10:00~17:00

1.生産革新とは何か

目的と効果(QCD競争力強化、人を活かす)

2.生産革新の歩みと事例

NECでの取り組みから学ぶ成功要因

3.流れづくりの基本

工場・サプライチェーンを“流れ”で捉える考え方

4.生産革新体感ゲーム

改善が進む現場の条件を体で理解する

5.流れづくりの点検方法

現場で使える着眼点・診断の進め方

6.推進者育成の実践事例

自主研に学ぶ、改善が続く人と組織のつくり方

修了後に得られるもの

- ・工場全体を“流れ”で捉える視点と一目でチェックできるスキル
- ・狙いに対する改善テーマの立て方と、成果につなげる進め方
- ・推進リーダーが育つ「場の設計」「テーマ設定」「運営」の要点づくりのスキル

講師紹介

日本電気(株) シニアプロフェッショナル

山崎 誠 氏



1990年 日本電気株式会社(NEC)入社。

1999年 NECグループ生産工場のQCD競争力強化に向けた生産革新の推進を担当。海底から宇宙までの高信頼性製品から、デバイス・大型コンピューターまで多様な製品領域で、国内外の工場および協力会社に対し、現地現物で改善を実践・指導。工場単体にとどまらず、「NEC サプライチェーン全体の改善」にも従事。

2004年 生産革新に加えて「人財育成」の推進を担当。リーダー育成を目的に「自主研」を立ち上げ、工場の重点課題をテーマとした実践型訓練を286回(2026年3月現在)に亘り運営・指導しこれまでに350名超の人財育成と、工場のQCD競争力強化に貢献。

2020年 社外営業向けの「ものづくり革新教育」を立ち上げ、継続実施中。

申込方法

①お申込みはこちらから

https://www.j-ie.com/seminar/koukai_kouza/CZ06/

②申込受付け後、おおよそ開催2週間前に参加証、請求書を郵送いたします。

開催日1週間前よりキャンセル料が発生しますので、代理の方をご派遣下さい。

※ 同業、競合の方につきましては、参加をお断りする場合がございます。

